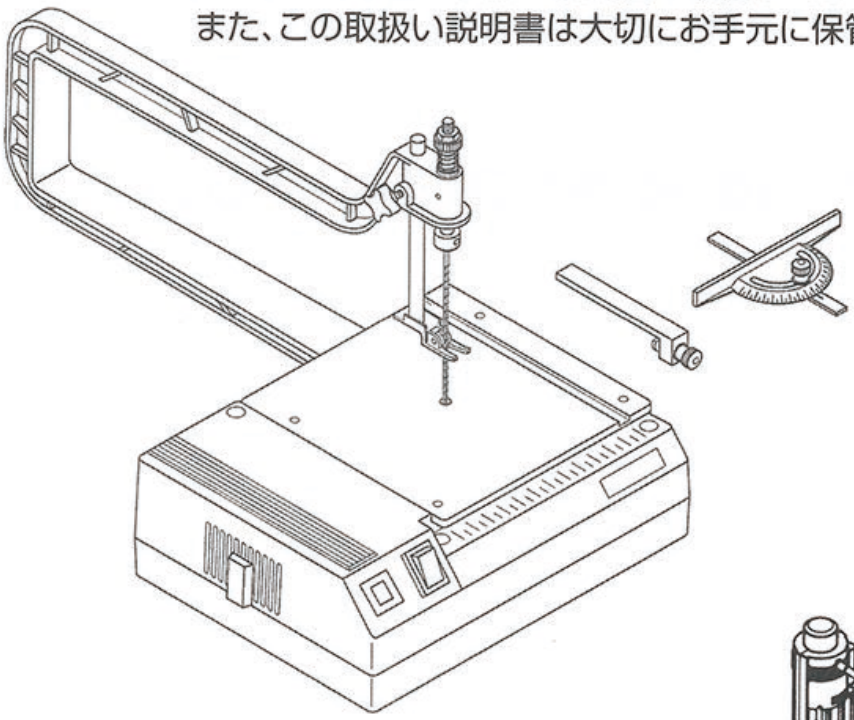
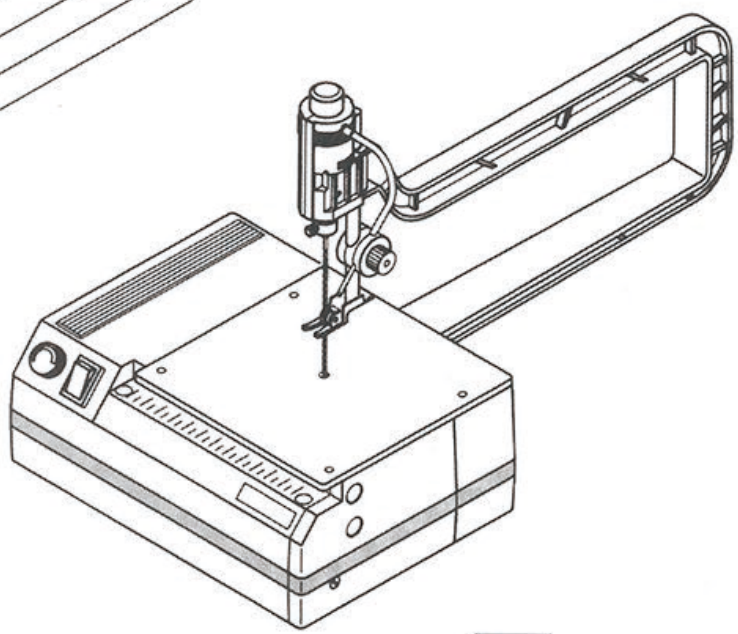
PROXXON

プロクソン
コッピングソウテーブル
（卓上糸のこ盤）
取扱い説明書

ご使用前に必ずこの取扱い説明書を最後までよくお読み下さい。
また、この取扱い説明書は大切にお手元に保管して下さい。





もくじ

●安全上のご注意 ……2
●各部の名称/仕様 ……4
●付属品 ……5
●使用上のご注意 ……5
●本体の組み立て、固定方法 ……6
●電源の接続とスイッチ操作 ……7
●糸のこ刃の取り付け ……8
No.28086 No.28088 No.28089
●糸のこ刃の取り付け ……10
No.28082
●ご使用方法 ……12
●別売部品 ……14
●作品図案例 ……15
●保守と点検 ……16

二重絶縁

No.28086 No.28088 No.28089 No.28082 兼用

この度は、プロクソン・コッピングソウテーブルをお買い上げ頂きありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

安全上のご注意

火災、感電、けがの事故を少なくするために、次に述べる安全上の注意を必ず守って下さい。
使用前に、これらのすべての注意事項を読み、そして指示にしたがって使用して下さい。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管して下さい。

「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意分の頭部の表示の「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。
なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守って下さい。
⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を追う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

⚠ 警　告

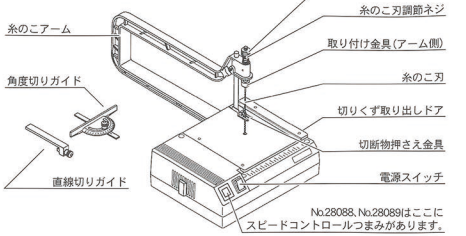
1. 作業場は、いつもきれいに保って下さい。
2. 作業場の周囲状況も考慮して下さい。
   - ●電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないで下さい。
   - ●作業場は、十分に明るくして下さい。
   - ●可燃性の液体やガスのある所で使用しないで下さい。
3. 感電に注意して下さい。
   - ●雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないで下さい。
   - ●電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにして下さい。
     （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
   - ●切断や研磨の作業の際、水、研磨液などは、使用しないで下さい。
4. アース端子の付いている商品は、必ずアースを接続して下さい。
5. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用して下さい。表示を越える電圧で使用すると回転が異常に高速になり、故障や事故の原因になります。
6. 作業中、無理な負荷をかけたり、銘板に表示してある定格使用時間以上の連続使用をすると、モーター部、電子制御部が発熱し故障の原因になります。
   - ●安全に能率よく作業するために、製品の能力に合った速さで作業して下さい。
   - ●小型の電動工具は、大型の電動工具で行う作業には使用しないで下さい。
7. 作業中は、手、目や顔を刃物に近づけないで下さい。
8. 子供を近づけないで下さい。
9. 使用しない場合は、きちんと保管して下さい。
   - ●乾燥した場所で、子供の手が届かない所に保管して下さい。
10. 指定された用途以外での使用は絶対に行わないで下さい。

11. きちんとした服装で作業して下さい。
    - ●だぶついた衣服や、長い髪の毛などは、駆動部に巻き付いたりするおそれがあります。
    - ●巻き込み事故の防止のため、手袋等の着用は絶対にしないで下さい。
12. 作業中は保護メガネを使用して下さい。粉塵の多いところでは、防塵マスクを併用して下さい。
13. 電源コードを乱暴に扱わないで下さい。
    - ●電源コードを持って電動工具を運んだり、電源コードを引っ張って電源コンセントから抜かないで下さい。
14. 加工する物をしっかりと固定して下さい。
    - ●加工する物を固定するために、クランプやバイス（万力）を使用して下さい。
15. 無理な姿勢で作業をしないで下さい。
16. 次の場合は、電動工具の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
    - ●使用しない場合、または修理する場合。
    - ●刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
17. 刃物、砥石、ビット等の付属品の取り付け、及び交換は取扱い説明書に従って確実に取り付けて下さい。確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。
    作業に入る前には、必ず試運転をして下さい。
18. 電源を入れる前に、付属品の取り付けに使用したキーやレンチ等の工具類が取り外してあるか確認して下さい。
19. 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、電源スイッチが切れている（OFF）事を確認して下さい。
20. 屋外で延長コードを接続して使用する場合、屋外使用に合った延長コードを使用して下さい。
21. 電動工具は、注意深く手入れをして下さい。
    - ●刃物類は、常に手入れをし、よく切れる状態を保って下さい。
    - ●注油や付属品の交換は、取扱い説明書に従って下さい。
    - ●電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、メーカーに修理（有償）の依頼をして下さい。
    - ●握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにして下さい。
    - ●駆動部、可動部、カバー部、スイッチ部やその他に損傷がないか十分に点検し、正常に作動しているか確認して下さい。異常のある場合はメーカーに修理（有償）の依頼をして下さい。
22. 指定の付属品や別売品、または指定している同等品を使用して下さい。それ以外の物を使用すると、事故やけがの原因になります。
23. 誤って落したり、ぶつけたときは、先端工具（刃物類）や本体に破損や亀裂、変形がないことをよく確認して下さい。そのまま使用すると、事故の原因になります。異常のある場合はメーカーに修理（有償）の依頼をして下さい。
24. 本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造は絶対に行わないで下さい。
25. 修理は必ず弊社までお申し付け下さい。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

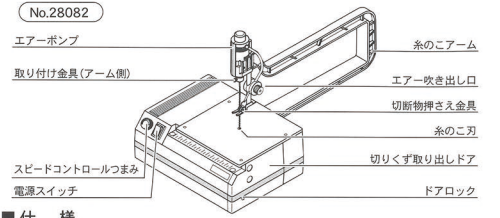
◆その他、取扱い上ご不明の点があった場合、弊社までお問い合わせ下さい。

■各部の名称

No.28086　No.28088　No.28089



No.28082



■仕　様

	28086	28088	28089	28082
電　　圧	100ボルト　50/60Hz			
消 費 電 力	80W	80W	80W	90W
刃 の 速 度	2,700min^{-1}(回/分)	600~2,000min^{-1}(回/分)	600~2,000min^{-1}(回/分)	500~1,700min^{-1}(回/分)
刃の上下ストローク	6(mm)	6(mm)	6(mm)	12(mm)
テーブル寸法	160×160(mm)			
アーム部フトコロ寸法	奥行き300(mm)　高さ50(mm)			
本 体 寸 法	横240×奥行き430×高さ250(mm)			横240×奥行き430×高さ300(mm)
切 断 能 力	木材30(mm)　やわらかい木(バルサ)50(mm)			

■付属品

(No.28086/No.28088/No.28089)

- ●糸のこ刃(荒目/60山/細目)各2本
- ●L型レンチ(長)3×100mm
- ●L型レンチ(短)2×55mm
- ●糸のこアーム取り付けネジ(5×25mm)
- ●ワッシャ
- ●本体固定用木ネジ(4×75mm)3本
- ●直線切りガイド
- ●角度切りガイド

(No.28082)

- ●糸のこ刃(荒目/60山/細目)各2本
- ●L型レンチ(長)3×100mm
  (切りくず取り出しドア内側に取り付け済)
- ●糸のこアーム取り付けネジ(5×25mm)
- ●ワッシャ
- ●本体固定用木ネジ(4×90mm)3本

■コッピングソウテーブル(卓上糸のこ盤)ご使用のご注意

先に一般工具として共通の注意事項を述べましたが、コッピングソウテーブル(卓上糸のこ盤)として、さらに次に述べる注意事項を守って下さい。

⚠ 警　告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用して下さい。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用に際しては、安全のため保護メガネを着用して下さい。また、切削、研削粉塵を吸い込まないようマスクの着用を心掛けて下さい。
3. 糸のこ刃は純正品もしくは同等品を使用して下さい。
4. 糸のこ刃が折れ曲がったものや、ヒビ、割れなど異常がないことを確認してから使用して下さい。異常があると、糸のこ刃が破損し、けがの原因になります。
5. 作業をする時、必ず作業台、机などに固定させて作業して下さい。
   確実に固定してないと、はずれたりし、けがの原因にもなります。
6. 水、研磨液などは使用しないで下さい。感電事故のもとになります。
7. 使用中は、糸のこ刃及び駆動部に手や顔を近づけないで下さい。けがの原因になります。
8. 電源スイッチを入れたまま放置しないで下さい。事故の原因になります。
9. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちに電源スイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店またはメーカーまで点検、修理を依頼して下さい。(有償修理)そのまま使用していると、事故の原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、糸のこ刃や本体などに破損や亀裂、変形などがないことをよく点検して下さい。破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

⚠ 注　意

1. 糸のこ刃は、取扱い説明書に従って確実に取り付けて下さい。確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 新しい糸のこ刃を取り付け、はじめて電源スイッチを入れるときは、糸のこ刃の露出部から一時身体を避けて下さい。
   糸のこ刃が破壊したとき、けがの原因になります。
3. 電源コードを引っ張られたり、引っ掛けたりしないようにして下さい。

■用　途

切断、切りぬき、直線切り、曲線切りに

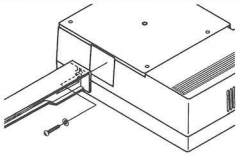
⚠ 警　告

・定格時間以上の連続使用はしないで下さい。定格使用時間･･･ **15分**

・長時間使用する場合は、指定の定格使用時間で必ず一度スイッチを切り(OFF)、約15分たってから使用して下さい。
(電源スイッチの入切による連続運転は連続使用と同様です。)

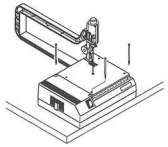
■本体の組み立て、固定の方法

糸のこアームの取付け(全機種共通)

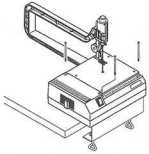


糸のこアームを本体うしろの取り付け溝に合わせて、付属のネジとワッシャで図の様に⊕ドライバーで、しっかりと固定します。

本体の固定



テーブル、机、作業台などに付属の本体固定用木ネジ3本で固定します

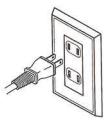


別売のテーブル固定台(No.28083)を利用する場合固定台に付属のネジで、あらかじめ本体と固定台をセットしておきます。次に固定台のクランプでテーブルなどに固定します。(固定台で固定できる机の厚さは50mm迄です。)

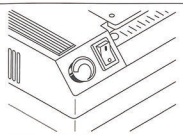
■電源の接続とスイッチ操作〔全機種共通〕

⚠ 警　告

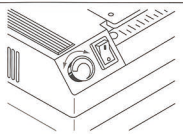
・電源コード先の電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ず電源スイッチが切れていることを確認して下さい。電源スイッチが入ったまま電源を接続すると危険です。



電源スイッチがOFFになっている事を確かめます。確認後、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



電源スイッチは、上側を押すとON、下側を押すとOFFになります。



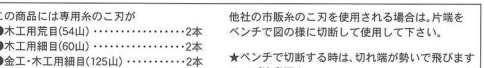
電源スイッチがONの時に、ダイヤルを左に回すと低速に、右に回すと高速運転になります。材料に合った速度を選んで下さい。
(No.28086型は除く)

■糸のこ刃について〔全機種共通〕

この商品には専用糸のこ刃が
●木工用荒目(54山)･･･････････････2本
●木工用細目(60山)･･･････････････2本
●金工・木工用細目(125山)･･･････････2本
が付属されています。追加購入される場合は専用の糸のこ刃をお買い求め下さい。
(14ページ 別売部品 をご覧下さい。)

他社の市販糸のこ刃を使用される場合は、片端をペンチで図の様に切断して使用して下さい。

★ペンチで切断する時は、切れ端が勢いで飛びますのでご注意下さい。

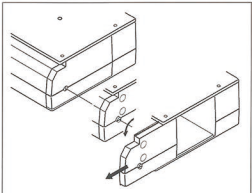


■糸のこ刃の取り付け

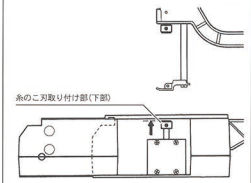
⚠ 警　告

・糸のこ刃は取扱い説明書に従って確実に取り付けて下さい。
・確実でないと、はずれたり、けがの原因になります。作業に入る前に必ず試運転をして下さい。
・電源スイッチを入れる前にはL型レンチなどの工具を必ず取り外して下さい。

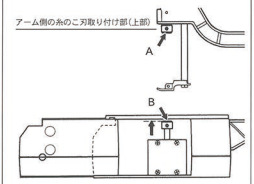
(No.28086/No.28088/No.28089)



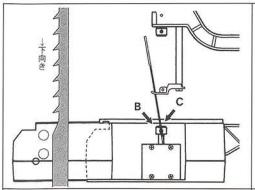
①本体側面の切りくず取り出しドアのドアロックを⊖ドライバーでゆるめ、切りくず取り出しドアを手前にスライドさせて開けて下さい。



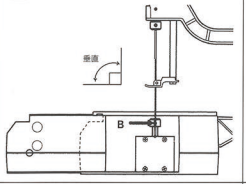
②電源プラグを電源コンセントに差し、電源スイッチのON-OFFを繰り返して、糸のこ刃取り付け部(下部)を一番上に上がった位置に移動させます。
(電源スイッチのON-OFFで上下します。)



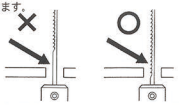
③糸のこ刃取り付け部のネジBをL型レンチ(長)でゆるめます。
④糸のこアーム側の糸のこ刃取り付けネジAをL型レンチ(長)でゆるめます。
※ネジをゆるめすぎるとネジがはずれて紛失の原因になります。



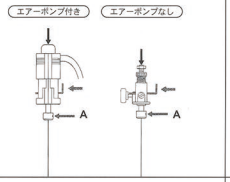
⑤電源プラグを電源コンセントから抜いて、糸のこ刃の刃が下向きになる様に糸のこ刃取り付け部の溝Cに本体テーブルの上から差し込みます。糸のこ刃は下に突き当たるまで差し込みます。



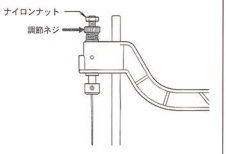
⑥L型レンチ(長)を使い、糸のこ刃を垂直に立てたまま、糸のこ刃取り付けネジBをしっかりと締めて固定します。



注)糸のこ刃取り付け部が上に上がった位置の時、取り付けた糸のこ刃が右図になる様に気を付けて下さい。左図の様では切断作業ができません。



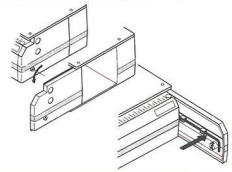
⑦糸のこ刃調節ネジまたはエアーポンプキャップ(エアーポンプを取り付けた場合)を押さえ糸のこアーム側の糸のこ刃取り付け部に、糸のこ刃を差し込み、図の様に糸のこアーム部の穴と、内部の穴を合わせてL型レンチ(短)を差し込み固定します。L型レンチ(長)で、ネジAをしっかりと締めて固定します。
L型レンチ(短)を抜きます。



⑧エアーポンプなしの場合、糸のこアーム部の糸のこ刃調節ネジを締めすぎると強い音と振動が出ますので、その場合はゆるめて調節して下さい。

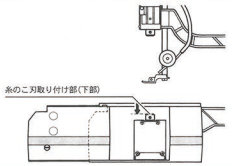
※ナイロンナットははずさないで下さい。
振動で調節ネジがはずれる場合があります。

(No.28082)

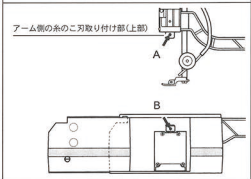


①本体側面の切りくず取り出しドアのドアロックを⊖ドライバーでゆるめ、切りくず取り出しドアを手前にスライドさせて開けて下さい。

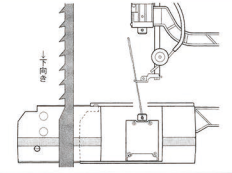
切りくず取り出しドアの裏側にL型レンチが付属されていますのではずして下さい。



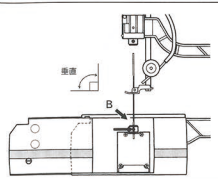
②電源プラグを電源コンセントに差し、電源スイッチのON-OFFを繰り返して、糸のこ刃取り付け部(下部)を一番下に下がった位置に移動させます。
(電源スイッチのON-OFFで上下します。)



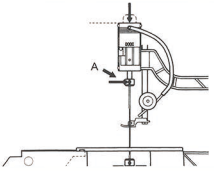
③糸のこ刃取り付け部のネジBを切りくず取り出しドアからはずしたL型レンチでゆるめます。
④糸のこアーム側の糸のこ刃取り付けネジAをL型レンチでゆるめます。
※ネジをゆるめすぎるとネジがはずれて紛失の原因になります。



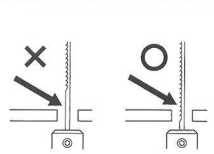
⑤電源プラグを電源コンセントから抜いて、糸のこ刃の刃が下向きになる様に糸のこ刃取り付け部の溝に本体テーブルの上から差し込みます。糸のこ刃は下に突き当たるまで差し込みます。



⑥L型レンチを使い、糸のこ刃を垂直に立てたまま、糸のこ刃取り付けネジBをしっかりと締めて固定します。



⑦エアーポンプキャップを下までいっぱいに押さえ、糸のこアーム側の糸のこ刃取り付け部に糸のこ刃を差し込み、ネジAをL型レンチでしっかりと締めて固定します。



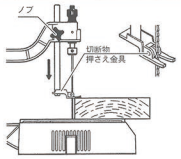
⑧糸のこ刃取り付け部が上に上がった位置の時、取り付けた糸のこ刃が右図になる様に気を付けて下さい。
左図の様では切断作業ができません。

■ご使用方法

⚠ 警　告

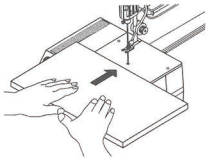
・巻込み事故防止のため、手袋等の着用を絶対にしないで下さい。
・目を保護する保護メガネを着用して下さい。
・作業中は、目(顔・手など)を糸のこ刃及び駆動部に近づけないで下さい。
・機体や糸のこ刃及び駆動部に衝撃をかけますとヒビ入ったり割れたりする恐れがありますので、取扱いには十分注意して下さい。
・必要以上に押え付けないで下さい。作業効率が悪いだけでなく、機械に余分な負担がかかり、故障や糸のこ刃の変形、破損事故の原因となります。
・万一機体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは必ず糸のこ刃の折れや、機体に破損などがないことを十分にご確認下さい。

切断物押さえ金具(ローラーガイド)の調整(全機種共通)



①切断する材料を本体テーブルの上に置いて、切断物押え金具を糸のこアーム横側のノブをゆるめて材料の上に軽くあたる位置まで降ろします。高さが調節できたらノブをしっかりと締めます。②この時、糸のこ刃の背側が切断物押え金具のローラー溝にはまる状態にします。

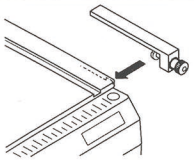
切断の方法(全機種共通)



切断する材料をやや下向きに押えながら糸のこの方へ静かに送り、切断を始めます。切断はゆっくりと糸のこ刃が切断押え金具のローラー溝から逃げないように進めていきます。

定格時間以上の連続使用しないで下さい。
全機種・・・・・・・・・・・・定格使用時間　15分

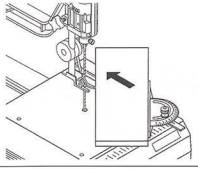
直線切りガイド (No.28082は除く)



材料をまっすぐに切断する時や、一定の幅に切断するときに使用します。直線切りガイドのネジをゆるめて、本体テーブルの手前下側の溝に図のように取り付け、指定する位置にスライドさせて、ネジをしっかりと締めて固定します。

注)糸のこ刃の特性上、まっすぐに切れない場合があります。

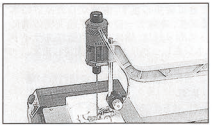
角度切りガイド(No.28082は除く)



切断しようとする角度に目盛りを合わせて、本体テーブル上面の溝に取り付けます。この溝をガイドと材料を一緒にスライドさせながら切断します。

注)糸のこ刃の特性上、まっすぐに切れない場合があります。

別売部品



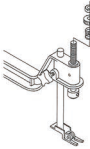
No.28085

エアーポンプ

コッピングソウに取り付けて使用します。
切断部に空気を送り、切りくずを吹き飛ばし、
切断の下書き線などが見やすくなります。

このコッピングソウテーブルにエアーポンプ(別売)
No.28085を取り付ける場合、以下の点に注意して下さい。

糸のこ刃調節ネジ、バネ、ナットをはずします。これら3点は、
エアーポンプを取り付ける場合は不要になります。



No.28090

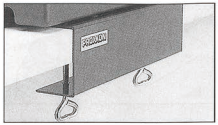
糸のこ刃荒目10本セット(木工用)
・16山/1インチ

No.28095

糸のこ刃60山10本セット(木工、金工用)
・20山/1インチ

No.28100

糸のこ刃細目10本セット(木工、金工用)
・40山/1インチ



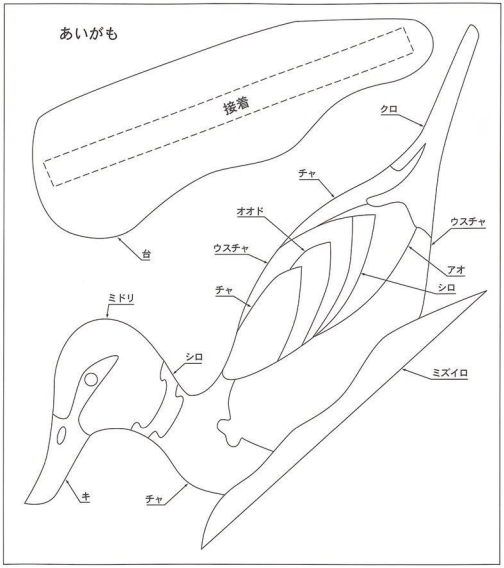
No.28083

テーブル固定台

クランプ方式で作業テーブル等に取り付け
が可能です。
●適応テーブル厚:50mmまで

〈作品図案例〉

お好みの大きさに拡大コピーをして、カーボン紙などで、10～12mm位の板に
図案を写して下さい。
切り終りましたら、切断面を紙ペーパーで仕上げ指定の色を塗るときれいな
作品になります。



保守と点検

●使用後は、粉塵などを取り除いたのち糸のこ刃を取り外して保管下さい。
●使用後は、次回の使用に備えてネジ類のゆるみや、異常な箇所が無いことを確認しておいて下さい。
万一、異常があったときはそのまま放置せず、お買上げの販売店またはメーカーに点検、修理を依頼して下さい。(有償修理)
●糸のこ刃は乾いた布などで汚れを拭き取り、サビ防止のため、薄くサビ止め油などを塗っておいて下さい。
●本体の汚れは乾いた布で軽く汚れを拭き取るようにして下さい。
●本体は防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったり、拭いたりしないで下さい。
また、絶対に揮発性の溶液やガソリン、シンナーなどでも洗ったり、拭いたりしないで下さい。
変形、変色の原因となります。
●保管は小さいお子様の手の届かない、室内の安定したところにして下さい。
また、湿気がなく、直射日光の当たらない涼しい場所で、高温にならないところに保管して下さい。

アフターサービス

●保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては、無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管して下さい。
(詳しくは「保証書」裏面をご覧下さい。)

●万一故障が発生した場合

故障または修理をご依頼される場合、アフターサービス係までご連絡下さい。

アフターサービス係

受付時間　月～金(祝日除く) 9:00～12:00・13:00～17:00

直通ダイヤル 06-6693-5353

修理をご依頼の場合、修理品は下記まで直接お送り下さい。
尚、送料はお客様のご負担となります。

〒545-0021
大阪市阿倍野区阪南町7丁目1-8　株式会社キソパワーツール　アフターサービス係

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品(商品の特性を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、
3年間保有しております。

発売元 株式会社キソパワーツール
●商品に関するお問い合わせは
株式会社キソパワーツール　アフターサービス係
〒545-0021　大阪市阿倍野区阪南町7丁目1－8
TEL:06-6693-5353　FAX:06-6693-5355
受付時間　月～金（祝日を除く）9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00
http://www.kiso-proxxon.co.jp/

020OK3021A

※改良のため予告なく仕様、使用方法を変更する場合があります。